

【地域文化学科】

ア 自己推薦

- ・小論文、面接、調査書により選考を行い、可否を判定します。
(面接資料として、「志願理由書」の提出を求めます。)
- ・ただし、上記選考合格者には大学入試センター試験を課し、その得点が「国語（近代以降の文章）」(100点)、「外国語（英語）」(250点を100点に換算)、「**数学**」「**理科**」「**地歴・公民**」の**うちから1科目**(100点)の、合計300点満点の50%以上であることを目安として最終合格とします。

個別学力試験科目	書類審査	大学入試センター試験の受験を要する教科・科目		
		教科	科目選択方法	
		国語	「国語」(近代以降の文章)	必須
		外国語	「英語」(リスニングテストを課す)	
		数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」のうち1科目〈注1〉	(正)
理科	理科①(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)のうち2科目(理科①は、2科目の受験で1科目とみなす)又は理科②(「物理」「化学」「生物」「地学」)のうち1科目〈注2〉	(誤)		
地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のうち1科目〈注3〉	1科目〈注4〉		

- 注1 「数学」について、2科目受験している場合は高得点の1科目を利用します。
- 注2 「理科①」の2科目と「理科②」の1科目のいずれも受験している場合は、「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のうち、高得点を利用します。
「理科②」について、2科目受験している場合は、第1解答科目[※]を利用します。
- 注3 「地理歴史・公民」について、2科目受験している場合は第1解答科目[※]を利用します。
- 注4 「**数学**」「**理科**」「**地理歴史・公民**」の中から最高得点の1科目を利用します。
- ※ 「理科②」「地理歴史・公民」の試験時間に2科目を受験する場合、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」と呼びます。

(2) 配 点

【保育教育学科】

ア 県内高等学校推薦

大学入試センター試験			個別学力試験		書類審査	合計
国語 (近代以降の文章)	数 学	外国語 (リスニングテストを課す)	小論文	面 接 (志願理由書)	調査書	
	40		40	55	15	150

備考 大学入試センター試験は、「国語（近代以降の文章）」(100点)、「数学」(100点)、「外国語（英語）」(250点を200点に換算)の合計400点満点を40点に換算します。

イ 自己推薦

個別学力試験		書類審査	合計
小論文	面接 (志願理由書)	調査書	
40	50	10	100

備考 大学入試センター試験の得点が、「国語（近代以降の文章）」（100点）、「数学」（100点）、「外国語（英語）」（250点を100点に換算）の合計300点満点の50%以上であることを目安として最終合格とします。

【地域文化学科】

自己推薦

個別学力試験		書類審査	合計
小論文	面接 (志願理由書)	調査書	
40	50	10	100

備考 大学入試センター試験の得点が、「国語（近代以降の文章）」（100点）、「外国語（英語）」（250点を100点に換算）、「数学」「理科」「地歴・公民」の中から最高得点の1科目利用（100点）の、合計300点満点の50%以上であることを目安として最終合格とします。

(3) 試験の内容

① 保育教育学科

ア 小論文

各種資料（文章、図表など）を提示し、問題点の読み取り、分析や考察を求める内容で出題します。文字数は800字以内。

イ 面接

[県内高等学校推薦]

個人面接で、推薦書・調査書・志願理由書に書かれていることがらを中心に質問します。

[自己推薦]

個人面接で、調査書・志願理由書に書かれていることがらを中心に質問します。

なお、手持ち資料の持ち込みや新たな資料の配付はできません。

② 地域文化学科

ア 小論文

広く文化に関するテーマで、文章を的確に把握する力と、論理的思考力を問います。文字数は800～1000字程度。

イ 面接

志願理由書に書かれていることをふまえて、以下の観点で個人面接を行います。

- ・本学科の学びの内容を理解し、学習する意欲があるか。
- ・学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲があるか。
- ・自分なりの表現方法で他者と対話することができるか。

(4) 試験会場

島根県立大学松江キャンパス 島根県松江市浜乃木7丁目24番2号